

# 令和元年度 港区ACP研修会（概論編） アンケート結果

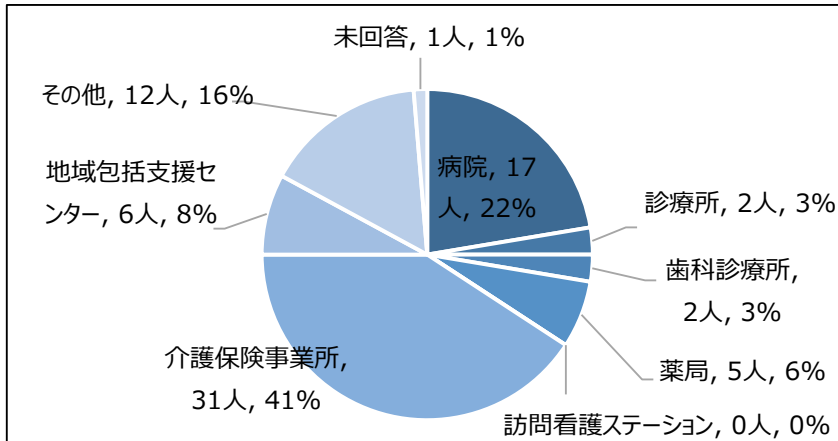
日時： 令和元年 12月19日（土） 13:30～15:30

場所： 中部ろうさい病院

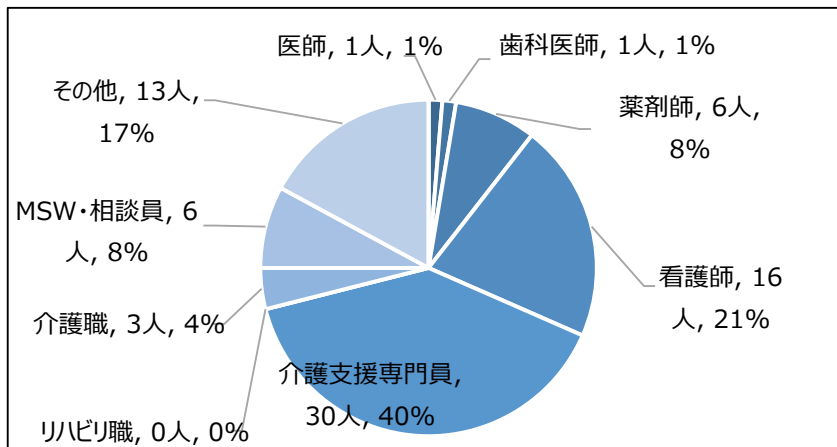
アンケート回収率： 95%(76名/80名)

## 1. 参加者ご自身について

### ①所属を教えてください

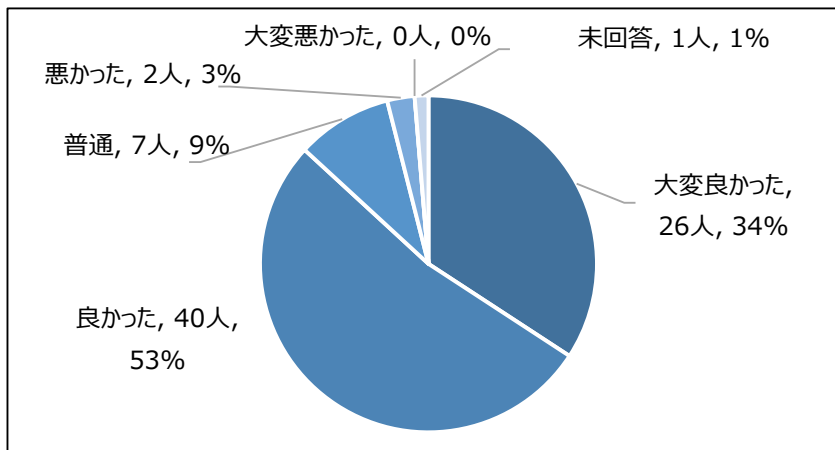


### ①職種を教えてください

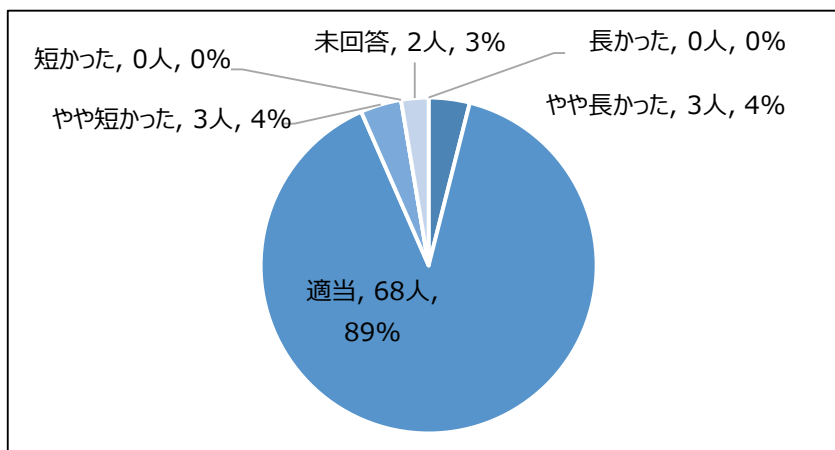


## 2. 講義（ACP概論）について

### ①内容はいかがでしたか？

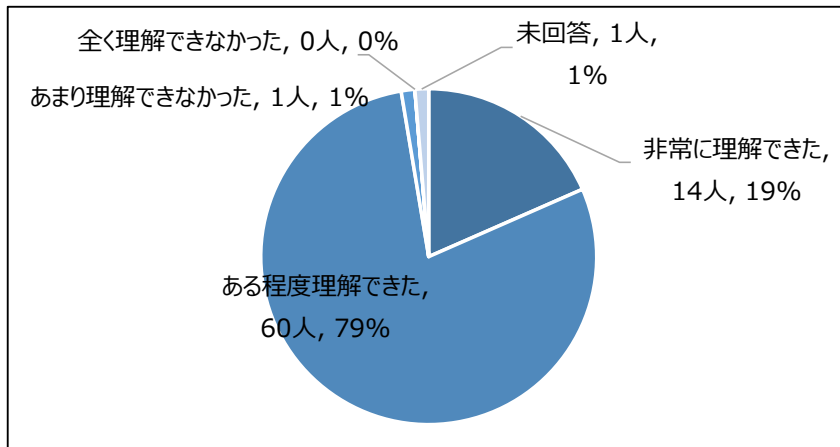


### ②時間はいかがでしたか？

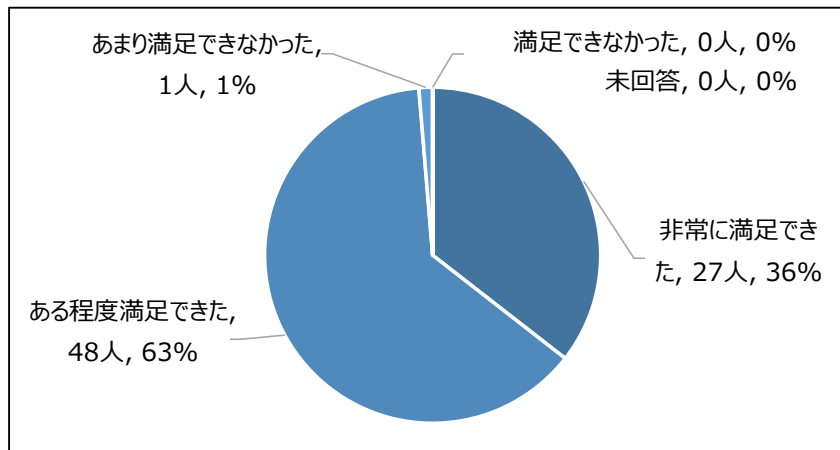


### 3. グループワークについて

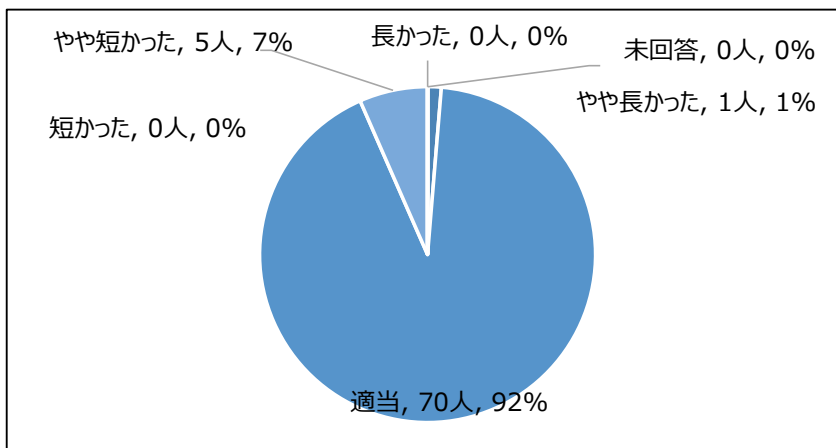
#### ① ねらい（自分の実践からACPを考える）は理解できましたか



#### ② ディスカッションは満足できましたか

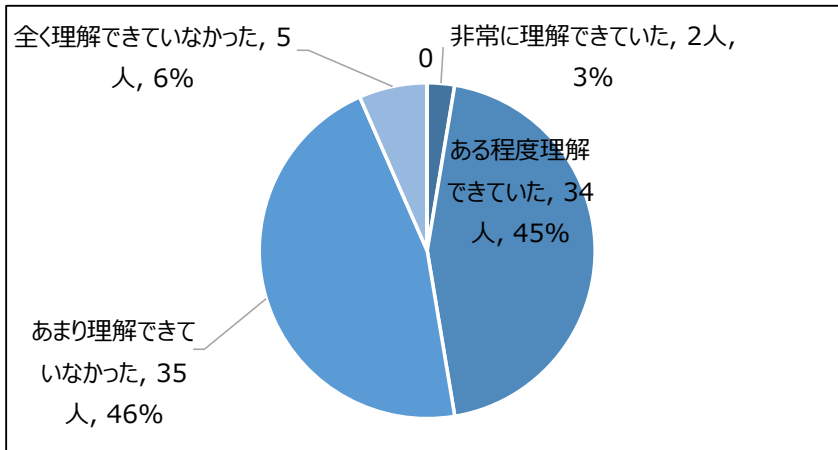


#### ③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

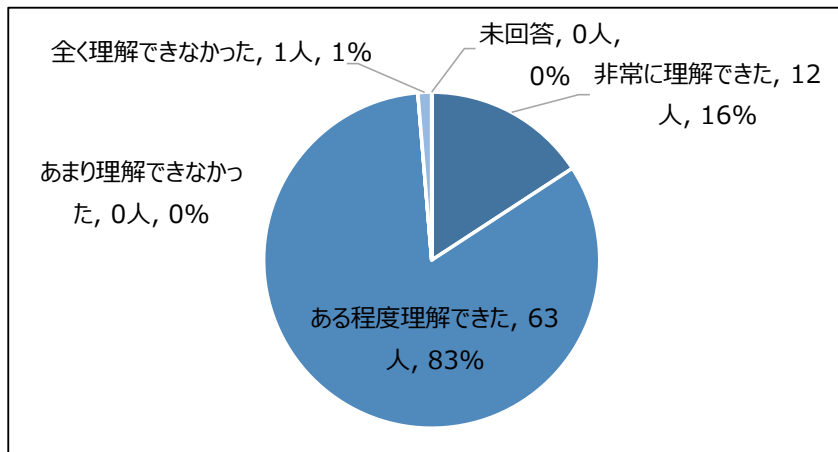


#### 4. 本ACP研修会について

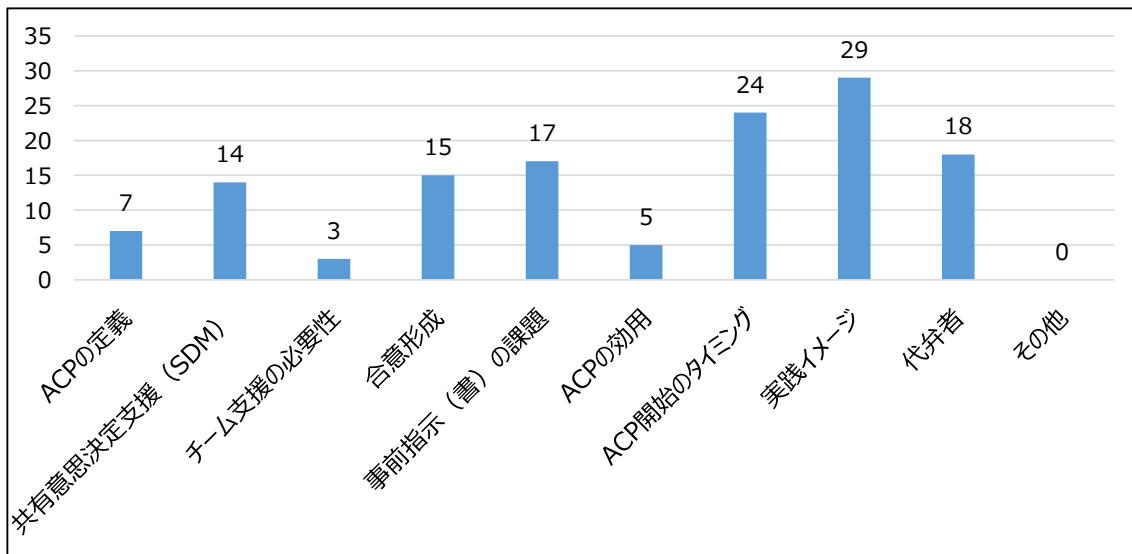
##### ① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



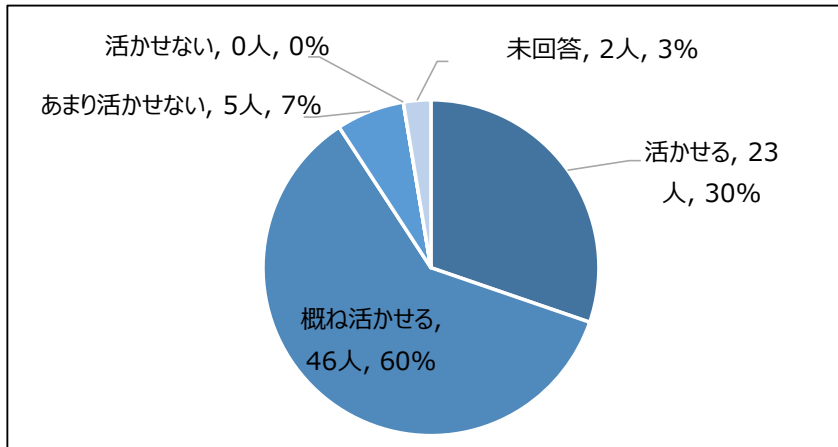
##### ② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



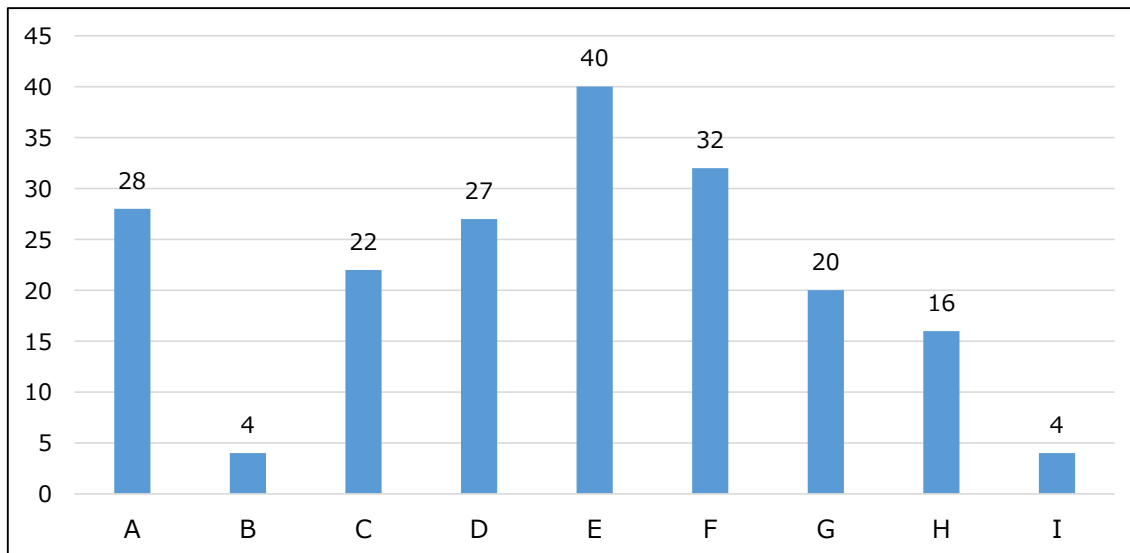
##### ③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

- ・とても参考になりました。ケアマネ等、地域の方々の意見も聞けたので病院からつなぐべきことが分かった。
- ・医療機関と在宅のワーキングを作って本人の意思の変化を書ける手帳を作ってはどうか。医療・在宅のチーム・家族も共有できるツールが必要ではないか。
- ・病院やいきいき、保健センター、地域のケアマネ、事業者等様々な立場、役割を持っている人と交流できた。今後のネットワークづくりにつながると思った。
- ・ACPのツールがほしい。ACPというとな難しそうでしたが、日ごろからやっていたことなのだと気が付きました。あとは共有をどのようにしていくかが問題だと思いました。
- ・大変勉強になりました。在宅で死を迎えるにはACPは必要だと思いました。
- ・大変勉強になりました。多職種の方とお話ができ、いろいろなご意見を聞くことができたのがよかったです。いざ実践となると、技術的にも課題が多いと思うので、日々の業務の中で意識的に取り組み、経験をつんでいきたいです。
- ・ありがとうございました。
- ・ACPについて全く知らなかったため、よく学べた。本人の意志の大切さ（本当に本人の意志か？）が少しわかったような気がするがなかなか本音を引き出しにくい。家族と本人の意志の食い違い、本人の意志を尊重した場合在宅での生活は維持できるのか？
- ・今後に生かせる内容でした。大変勉強になりました。
- ・日々の経験の振り返りにもなった。普段関ることが少ないケアマネさんなどの意見も聞いて参考になった。フォローアップもしっかり学びたい。
- ・医療者との共通理解がもてる機会として大変貴重な研修となりました。
- ・多職種とのディスカッションにより様々な意見を聞けたことはとても参考になった。
- ・たいへん有意義な意見が交換できました。
- ・多職種連携について話し合いができてとても有意義でした。
- ・本人の意志など些細（大まかな）な好きな事、こうしたい…などの話はできるが、それをどう共有するか…連携していくかがむずかしい。要支援の人たちへのチェックリストのように、介護保険申請のタイミングなどで記入するような用紙があると良い。保険証など事業所へ必ず送る（FAX）するので、その用紙を一緒に送ったりできると思う。
- ・ACPの研修を定期的に行い、ACPがうまく機能し80ネットワークが広がっていくといいです。
- ・もっと具体的に事例にあわせて説明があると理解しやすいのでは？特に声掛けの部分での工夫、技術を学びたい。
- ・今回の研修で、本人及び家族間との意思決定の確認を多く行い、介護・医療についても細部まで決めて話し合う必要を知った。

- ・参加させて頂き、初めて耳にする言葉もありました。在宅と施設で声掛けのタイミングの違いが大きいと知ることができました。今後、ACPを頭に入れて支援できるよう実践していきたいです。いろいろ多くのことを学びました。
  - ・あらためて自分の実践の中でACPを考え、課題や現状について共有化することができてよかった。概論なので仕方ないがイメージするのに少し時間がかかってしまった。
  - ・顔の見える関係は大切です。
  - ・グループ内で入院中、退院後のはざまのキーパーソンがあいまいという話が出た。この流れ、相互情報提供が円滑にいくといいと思った。
  - ・薬局の薬剤師からACPについての情報を発信するのは難しいと感じました。
  - ・大変勉強になりました。
  - ・内容が難しかったですが、良い勉強になりました。
  - ・本人主体の考え方が持つことがとても大事だと思った。
  - ・まずは自分自身がしっかり理解する事から始めていきます。
  - ・どのように声掛けすればよいのか、知ることができました。病気をつきつけられていなければ、軽く話せますが、いざ、目前にせまった際、支援者が話すとき患者自身を不快にしかねないので、言葉や態度には細心の注意が必要かと感じました。
  - ・ファシリテーターの他に司会も決めていただくとスムーズに進行できたと思います。事例は無い方がよかったかもしれません。病院や訪看、訪問介護など多職種の方の考えを聞いて良かった。
  - ・ACPに関して、多職種、他施設の意見を聞ける貴重な経験をすることができました。また、具体的に行っていることや困ったことなど、共有できたことは良かったです。・ACPについて深く考える良い機会となりました。
  - ・気持ちが引き締まりました。経験を積んでいく中で常にSDMの9ステップを意識していきたい。
  - ・概論が広く浅くだったので最も大切にされているところを時間をかけて深く（特に実践レベルのこと）していけたら良いと思いました。事例検討の目的が分かり辛く感じました。
  - ・ケアマネジャー、訪看さん、病院関係者の思いが聞いて良かったです、多職種によりグループディスカッションの機会がたくさんあると思います。
  - ・グループディスカッションで多職種の意見をきくことができ、有意義だった。もう少し活発なグループディスカッションとなるとより良かった。ありがとうございました。
  - ・グループディスカッションの発表内容に対する補足的意見などをもっと詳しく聞けたらと思いました。
  - ・多職種で話し合える場を作ってほしい。
  - ・グループディスカッションでは活発な意見交換があり、様々な立場・経験から学ぶことも多かった。ありがとうございました。
  - ・一般の方への周知、親しむという意味では、ある、強制的(?)と思われるかもしれませんが、市民検診(がん検診時など)や介護保険申請時には必須項目として聞きとるなど世代問わず、ACPの概念に慣れると良いなあと思いました。
  - ・定義についての理解が今研修だけでは難しく何回かつみかさね自分で説明できるようになりたいと思います。
  - ・概論からのディスカッションで、実際の例などを話しあい、理解を深められた。実践に活かそうである。
  - ・在宅で関わる職種の方から話が聞いて本当にいい体験となりました。病棟で実践に活かします。
  - ・いろいろな職種、事業所の方の話が聞けたのでとてもよかった。ACP、成年後見、虐待、医療などの研修をしてほしい。
  - ・不勉強ですが、追求していきたいと思います。
  - ・それぞれの立場を尊重しながら、進めていく中で答えを求められる場があり、難しく感じました。しかし、グループワークの良さを生かして皆さんに意見を求めることで、納得して頂きました。この経験を、今後に役立てたいと思います。
- また、港区で研修に参加できてうれしかったです。どうもありがとうございました。
- ・初めてのファシリテーター役で、うまく進行できるか不安でしたが、参加者一人一人に必ず発言してもらうことをモットーにした結果いろいろな意見や思いや実情などがきけて、活発なグループワークができたように思います。支援側としてACPをもっと深めていくために今後もファシリテーターとして経験をたためるため研修参加したいです。
  - ・参加頂いた職種の方々の事例や困っていることから、お互いの意見が出て活発なコミュニケーションができました。ACPの概論と合わせて各自、参考になり、ケアの場面で実践できる具体策が出ました。私も勉強になりました。ありがとうございました。
  - ・GWは全員が発言しており、各機関の課題をどうつなげるか検討していて良かった。
  - ・各職種ごとにターミナル、看取りの経験をされているが、がんなどの診断をされたことをきっかけに今後の人生について話し合うため、本人と家族の意向が異なる、医師と本人・家族の意向が異なることでケアマネジャーや施設職員はどちらの意向を尊重すべきかという迷いが生じてしまうという話がされた。医師は多くの患者(ケース)からの予測をされているだろうが、本人・家族にとっては

初めてのことであり、急に湧いてきた内容でピンときていない、時間をかけて話しても受け入れられないなどの悩みもあり、ACPの普及、理解を促すためにはどうしたら良いか考えることが課題だと思った。事例は特に使用しなかった。

- ・ファシリテーターとして事前の知識を持っていたので、講義内容分かったが、初めて聞く人にはやや難しいと感じた。グループワークでは、事例をきっかけに、それぞれ職種の働きかけを考えることができた
- ・話が違った方向にそれてしまった時に、うまく修正することができず、ファシリテーターとしての役割を十分に果たすことができなかつたかなと思います。進行役の方がうまく話をもとじてくれて、全員からいろいろな意見が出て、いいディスカッションになったと思います。自分たちの経験も生かして話ができていると思います。

今後在宅にもっと目を向けていかないといけないと思いますが、それに関する研修（内容が思いつきません）

- ・それぞれの職種、立場が違うことにより、その人の思いを知ることの難しさなど多く伺いました。又、自分だったらの所で、思いはみな違うこともあり、その人の思いを知り実現することの大変さも改めて思いましたが、又、知ることの大切さも感じました。共有することについて時間差もあり課題となりました。全員が発言することができ、とても勉強になったと意見がありました。

- ・自分の意見を言い過ぎたかなと反省 まとめる、時間配分が難しかった

- ・様々な機関、職種の方がいらしゃったので軌道に乗れば会話がはずみ、ファシリテーターとしてはありがたかったです。細かなところまで準備、配慮いただき、ありがとうございました。

- ・職種による介入タイミングや課題について、ファシリテーターを通して共有・学ぶことができた。

- ・ディスカッションについて、テーマ等があると話すきっかけになるので、あった方が進めやすいと感じた。話が進めば自然と次々に意見は出てくる。その中で、発言の少ない方に意見を聞くことや、話題がそれた際の立て直しができなかったかは不安。

グループの人数がもう少し少ない方がディスカッションはしやすいかもしれないと感じた。（5～6名）